

横植協会 27-17号

平成28年1月18日

## 横浜植物防疫協会からのお知らせ

各 位

横浜植物防疫協会

045-201-2378

お知らせ17号を送信します。

### 【横浜・川崎港における植物の輸入状況(平成27年1～12月、横浜植物協会扱い)】

横浜・川崎港における植物の輸入状況(平成27年1月～12月、横浜植物防疫協会扱い)の概要を、以下のとおり取り纏めたので参考までお知らせします。

1. **輸入数量**：横浜・川崎港における輸入植物（コンテナ詰・在来船積）の輸入数量は、栽植用植物、球根類及び切花類の総数が 74,860 千個(前年比 139.1%)、栽植用種子、生果実類、野菜類、穀類・豆類及び乾牧草・飼料類等の総数が 3,766 千ト(前年比 96.9%)、木材は 105 m<sup>3</sup>(前年比 72.9%) であった。
2. **輸入コンテナ本数**： 73,752 van (前年比 100.6%)で、昨年より 470 van の増加であった。内訳は 20F が 31,537 van (前年比 99.9%)、40F が 42,215 van (前年比 101.2%) で、40F コンテナでの輸入が多かった。
3. **栽植用植物**： 11van、143 千個 (前年比 62.5%) で、草花類苗、バラ苗木の輸入が大幅に減少した。
4. **栽植用球根類**： 265 van、49,838 千個 (前年比 99.1%)で、チューリップ、ユリの輸入が減少したが、アマリリス、スイセン、グラジオラスの輸入が増加した。
5. **栽植用種子**： 298 van、4,313 トン (前年比 109.2%) で、野菜種子、飼料・緑肥作物種子の輸入が増加した。
6. **切花・切葉・切枝**： 94 van、24,879 千個 (前年比 753.0%) で、カーネーション、トルコギキョウ等の輸入が増加した。
7. **果 実**： 6,520van、387 千ト(前年比 97.7%) で、オレンジ、グレープフルーツ、レモン、パイナップルの輸入が減少した。キウイフルーツ、ブドウが増加し、南米産バナナの輸入が大幅に増加した。
8. **野 菜**： 4,197 van、79 千ト(前年比 86.4%) で、メロン、セロリ、ブロッコリー、レタス、アスパラガス、タマネギ、ニンジン等の輸入が減少し、カボチャ、サヤエンドウ、キャベツ等の輸入が増加した。
9. **穀 類**： 8,159van、1,208 千ト(前年比 79.5%) で、コメ、オオムギ、トウモロコシの輸入が大幅に減少し、コムギの輸入も減少した。モルト、ソバの輸入が増加した。
10. **豆 類**： 15,424 van、773 千ト(前年比 123.9%) で、ダイズの輸入が大幅に増加し、

エンドウ、ラッカセイの輸入も増加した。アズキ、インゲンの輸入が減少した。

11. 香辛料・乾果・薬染料等：14,234 van、270 千トン（前年比 103.8%）で、コーヒー、アーモンド、ポップコーンの輸入が増加し、タバコ、クルミ、漢方薬の輸入が減少した。
12. 油料・肥飼料等：24,545 van、1,044 千トン（前年比 105.5%）で、ナタネ等の油料原料、乾牧草の輸入が減少し、ココピート、ヤシ殻、イネワラ等の輸入が増加した。
13. 輸入木材：5 van、105 m<sup>3</sup>（前年比 72.9%）で、前年よりさらに減少した。

以上